

重要文化的景観とは



第11号 平成25年3月発行

編集：海津西訊知内地域文化的振興まちづくり議論会

◇内湖や琵琶湖に生きる、琵琶湖固有種も多い魚類 それら全てが、海津西浜知内という小さな地域にまとまって残つ

てゐる、また見ることが出来る、
それは全国的にみても貴重だとい
うことが鑑定の理由だそうです。

そしてそれらは、現在の環境に色々な意味で負荷をかけていける生活とは異なった、昔の自然と共に生きた生活の全体像をイメージさせることも出来るそうです。（当時としてはそれは、仕方なくかもし

この地域が、歴史と文化に育まれ、豊かで住みよい町で今後もあり続けるために、全国的にみても貴重なこの地域を、もう一度地域の皆さんと共に見なおしてみようとして、そんな素晴らしい場所で

貴重なこの地域を、もう一度地域の皆さんと共に見なおしてみようとして、そんな素晴らしい場所であることを多くの方に知つていただき。そういう趣旨で、大事に！きれいに！賑やかに！をキヤツチフレーズに、本協議会

今後とも、その趣旨に賛同いた
だき、活潑な意見や協力などを協
議会の方へいただければ幸いです
また、継続的な美化活動事業に
ご協力ありがとうございます。

海津・西浜・知内地域文化的景観まちづくり協議会 H24 活動報告

- 平成24年 7月 1日(日) 重要文化的景観区域清掃活動(びわこ一斎清掃に合わせた湖岸一帯の清掃活動)
 - 平成24年 9月 1日(土) 文化的景観地区住民連絡協議会ワークショップへの参加(近江八幡市)(いしづみ便り第10号に内容掲載)
 - 平成24年 9月 2日(日) 重要文化的景観選定地域先進地研修(近江八幡市・西の湖)(いしづみ便り第10号に内容掲載)
 - 平成24年11月 4日(日) 「きやんせ海津～石積みの町を歩く～」の開催 (P2にフォトアルバム)
 - 平成24年12月 2日(日) 長崎市外海文化大学で「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」地域での活動を報告(竹脇一美副会長)
 - 平成24年12月 2日(日) 重要文化的景観区域清掃活動(県下一斎清掃に合わせた湖岸一帯の清掃活動)
 - 平成25年 3月 2日(土) 「きやんせ海津～早春篇～」の開催 (P3にフォトアルバム)
 - 平成25年 3月24日(日) 重要文化的景観区域(海津西浜知内の水辺景観)清掃活動

“助つ人”募集！

海津・西浜・知内地域文化的景観まちづくり協議会では、企画・広報・イベント実施などに、一緒にワイワイとご協力していただけの方を募集しています。海津・西浜・知内の歴史に興味のある方、自然(魚や植生)に興味のある方、水とくらし・文化に興味のある方、ミニコミ誌の編集に興味のある方などなど、どんな切り口からでもかまいません。詳しくは、協会事務局 マキノツーリズムオフィスまでご連絡ください。

TEL. 28-8002

Mail makino-to@gai.eonet.ne.jp



「手ぬぐい」つくりました！

(上の写真)今は試作品をイベントスタッフ用に使っています。今後は、お土産・記念品等に利用出来ないかと考えています。イラストは、昨年の看板募集の際にデザインを応募された中から、ご本人の承諾を得て使用させて頂きました。

2012/11/4「きゃんせ海津」フォトアルバム



海津の古写真を見ると、会話が弾みます



“焼き芋・ポン菓子”的お店も出しました



開港選定・重要文化的景観——海洋・西浜・知内の水辺景観
古き港町の面影をたどる、楽しいまち歩きイベント

き	や	ん	せ
海	津		◆
おひいてよみゆきへ			

●JR湖西線・マキノ駅下車徒歩15分(タクシーあり)
 ●駅構内シタマイルにてご利用ください
 ●お車でおこしの際はJRマキノ駅駐車場をご利用ください

主 催 滋賀・西・知内地区文化協会
 費 用 5千円(税込)
 お問い合わせは当協議会事務局まで
 マキノマリオットオフィス
 高島市マキノ町高島木1-14-2
 TEL 0745-28-8002

●湖岸石積み遊覧船（航天止中）
 海津港から発着します
 連続航行50分(往復)各船限定10名
 出港時刻10時、11時、12時、14時(約40分の運航)
 ●湖北古賀良ギャラリー(テー・2803号地)
 湖北リオートキャビンサービスセンター
 湖北区集落角/古田酒造
 ●みと鹿児島・地元特産販売
 游覧船便/船泊バーゼン/道の駅・想いなし/路地
 和菓子はな

11/4 日 10:00~16:00



イベントチラシ

通り沿いのお店の方々にもご協力いただきありがとうございました。好天に恵まれましたが、参加者数は一〇〇人程度でした。来訪された方々には、喜んでいただけたと思いま
すが、広報の仕方・イベントの作り方など、今後には課題が残るイベントとなりました。

昨年十一月四日に
町歩きイベント



次回の湖上遊覧のタイムキープを兼ねて、地元の小学生の皆さんに湖上から自分たちの住む町を見てもらいました。



造り酒屋さんで利き酒と古写真の展示

町歩きイベント「きやんせ海津」実施

2013/3/2「きやんせ海津」～早春編～フォトアルバム

舟からの景色を楽しむイベント
「きやんせ海津・早春編」実施

三月一日、早春の海津・琵琶湖の景色などを湖から観光していただくイベント「きやんせ海津・早春編」を実施しました。

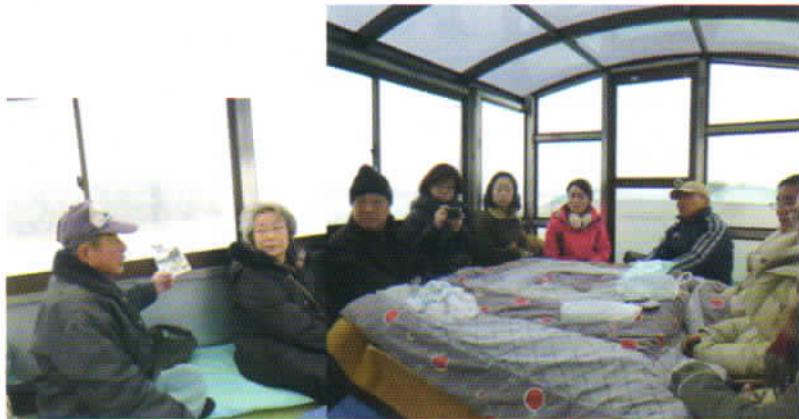
参加者の皆さんには少し寒くて難波されたかもしれません、雪まじりの天候・早春のマキノらしい、この時期の企画の狙い通りの天候となりました。春の雪舞う海津の散策、少し白くなつた山並と海津の石積みを眺める湖上遊覧、そして、琵琶湖の幸満載の昼食に、参加者の皆さんそれぞれに、この地域に良さを感じていただけたと確信しています。



JRマキノ駅前でご案内

三月一日、早春の海津・琵琶湖の景色などを湖から観光していただくイベント「きやんせ海津・早春編」を実施しました。

参加者の皆さんには少し寒くて難波されたかもしれません、雪まじりの天候・早春のマキノらしい、この時期の企画の狙い通りの天候となりました。春の雪舞う海津の散策、少し白くなつた山並と海津の石積みを眺める湖上遊覧、そして、琵琶湖の幸満載の昼食に、参加者の皆さんそれぞれに、この地域に良さを感じていただけたと確信しています。



湖上遊覧



湖上から街道から 湖の幸もたっぷりと石積みのまちを満喫する一日

●早春クルーズ
●海津まちあるき
●湖の幸たっぷりの昼食
●新酒がいっぱい！酒蔵見学

イベントの詳しい内容は裏面をご覧ください。

きやんせ
海津 ◆
国選定・重要文化的景観
海津・西浜・知内の水辺景観

3月2日 土 集合/9:30 解散/15:30

集合場所 J.Rマキノ駅前
定員 24名 (正規料金込、特別料金なし)
参加料 4,800円 (税込)(一回の昼食、昼食代込みにて本価格)

お申しお申しお問い合わせは
マキノツーリズムオフィス
高島市マキノ町西浜1298-8
(JRマキノ駅構内)
TEL 0740-29-8002

主催／海津・西浜・知内地域文化振興会
協力／マキノ町観光課、マキノ町まちづくり委員会、マキノ町まちづくりネットワークセンター
後援／高島市教育委員会

イベントチラシ



琵琶湖の幸満載の郷土料理を提供



酒蔵の見学



日笠山真美さん絵画
(海津漁協倉庫)



雪の海津を散策

暮らしが生んだ絶景（琵琶湖水辺の文化的景観）

安土城考古博物館会館10周年・第四五回企画展に協力

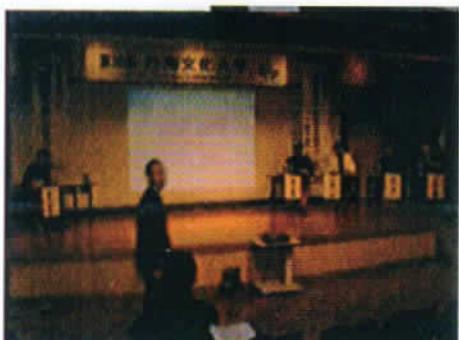


講座を無事終えホッとする山本さん

平成24年11月23日(金)～平成25年1月27日(日)、近江八幡市土町にある安土城考古博物館において、「暮らしが生んだ絶景（琵琶湖水辺の文化的景観）」第四五回企画展が行われました。その企画展に際して、マキノ津の古地図・琵琶湖漁業の漁具海町の展示品を提供しました。



チラシ裏面はイケ・オイサテ・力士祭りの写真(右側写真3点)



シンポジウムの様子



外海の石積み景観



外海の石積み景観

30回 外海文化大学

■外海の石積集落景観に関する報告 (一般参加者-80人)

長崎大学准教授 渡辺貴史・長崎市世界遺産推進室谷本・中野
新上五島町世界遺産推進室 高橋・松崎・竹森
長崎県文化観光物産局世界遺産登録推進室 國廣 外

■報告概要

- ①外海の石積文化について (長崎市総務局企画財政部世界遺産推進室 室長 田中洋一)
- ②基調講演 文化的景観のこれまでとこれから (文化庁文化財部記念物課文化的景観部門 技官 鈴木地平)
- ③パネルディスカッション 文化的景観を活用したまちづくり
事例発表 協議会副会長 竹脇一美・連合自治会長 西 清
ド・ロサ生の家代表 川田正勝

■報告内容

1)外海の石積み文化について

長崎市外海の石積集落景観(平成24年9月19日選定)
複合景観(水田・畑地などの農耕に面する景観地)・垣根・屋敷林などの居住に関する景観地

2)文化的景観のこれまでとこれからについて

価値が高く保護が保たれる文化財の保存活用でなく文化財と保存活用しない方が良いこと・やった方が吉こと・やらなければならぬこと
良いものは守ろう・良くないものは直そう・良いものを造ろうつながり

3)文化的景観を活用したまちづくりについて

重要文化的景観「海津・西浜・知内水辺景観」の取り組み
選定経緯・運営方法・事業計画・運営資金 協議会副会長 竹脇一美

長崎市深堀地区の取り組み『長崎の城下町「深堀」～歴史を活かしたまちづくり』

連合自治会長 西 清

景観まちづくり委員会・長崎大学の町歩き・福祉カルタ及び歴史カルタの制作・広報誌・クリーンアップ事業・石積み景観散策・恵比寿地蔵

長崎市外海地区の取り組み「ド・ロサ生の家の活動について」ド・ロサ生の家代表川田正勝

マルコ・マリー・ド・ロサ生の活動を伝え共有する
開墾した地等の維持管理・収穫・販売
遺跡の活用・体験学習・交流・協力

4)現地見学

小田平ら周辺遺跡めぐり
多種多様な石積みと江戸時代からの石積みめぐり

地域での活動を竹脇副会長が報告
平成二十四年九月、長崎市の外海(そとめ)の石積集落景観が、新たに重要文化的景観に選定されました。そのお披露目を兼ねて当地で、十一月七日、「外海文化大学」というシンポジウムが開催されました。その場で、海津・西浜・知内の取り組みについて、協議会副会長の竹脇一美氏が報告されました。